

2015年度(2016年3月期) 第3四半期決算説明会



2016年2月3日

大正製薬ホールディングス株式会社

取締役 上原 健



2015年度第3四半期決算：概要

(億円)

	2014年度 3Q累計	2015年度 3Q累計	前年同期比 増減	
売上高	2,218	2,250	+32	+1.5%
セルフメディケーション	1,349	1,388	+39	+2.9%
医薬	868	862	▲6	▲0.7%
営業利益	248	227	▲21	▲8.5%
経常利益	309	291	▲18	▲5.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	196	187	▲9	▲4.8%

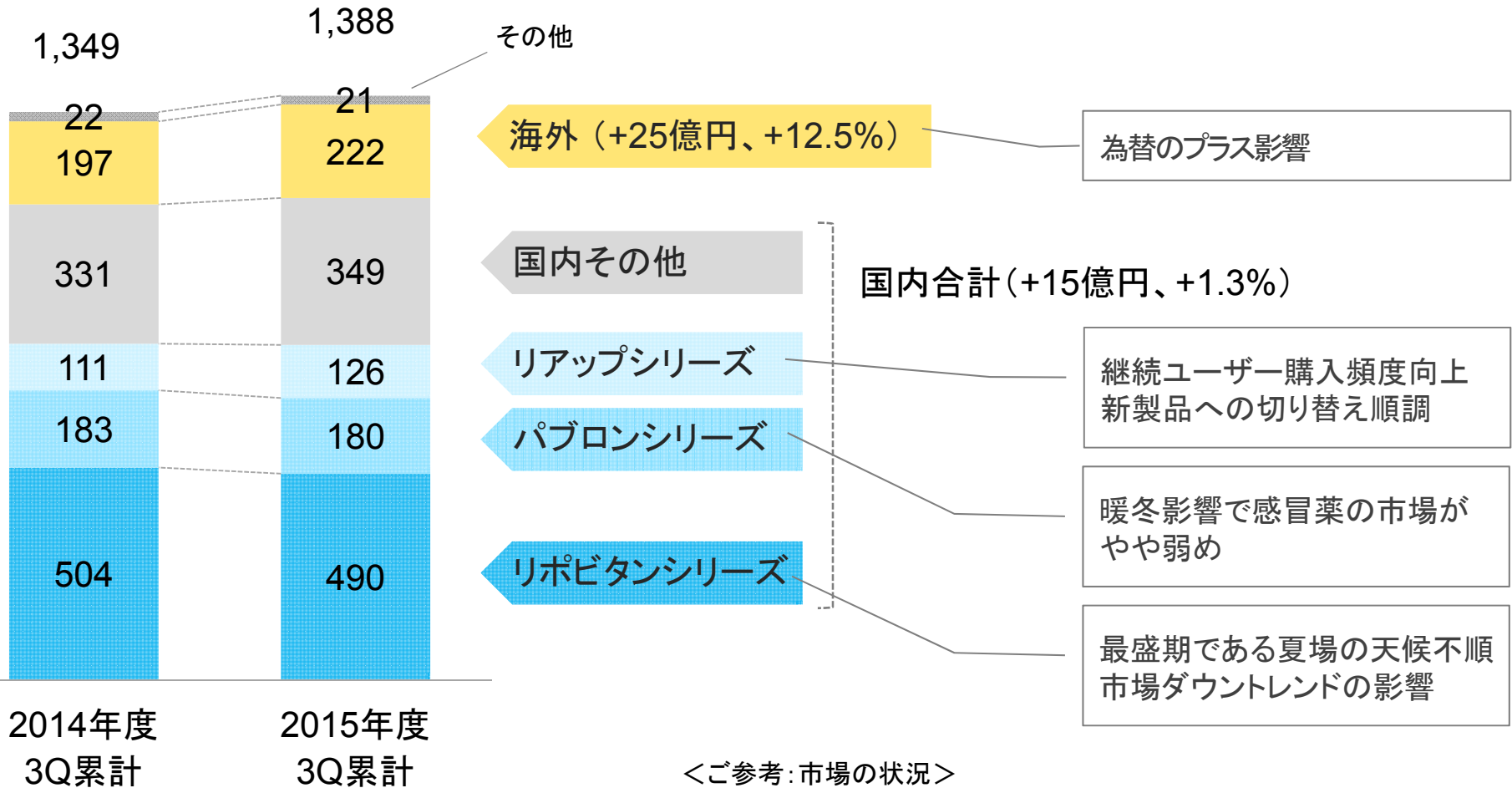
注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2015年度第3四半期の概況：SM事業

SM事業売上高 (億円)

内訳(前年同期比増減)



注:金額は億円未満四捨五入
増減は百万円単位で計算

<ご参考:市場の状況>

- 国内OTC医薬品市場:前年同期比(4~12月)+5.0%

(インテージSDI・SRIデータをもとに当社推計、金額ベース)



2015年度第3四半期 主要ブランド売上高（SM国内）

（億円）

	2015年度 3Q累計	前年同期比 増減	
リポビタンシリーズ	490	▲15	▲2.9%
パブロンシリーズ	180	▲3	▲1.7%
リアップシリーズ	126	+15	+13.6%
リビタシリーズ	29	+0	+0.6%
胃腸薬シリーズ	31	▲0	▲0.7%
ナロンシリーズ	28	▲1	▲5.0%
ヴィックスシリーズ	28	+1	+3.7%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

2015年度第3四半期 SM海外：売上高



(億円)

	2015年度 3Q累計	前年同期比 増減	
SM海外	222	+25	+12.5%
海外ドリンク剤	79	+10	+14.9%
海外OTC医薬品	136	+14	+11.5%
アジア	114	+13	+12.8%
その他	22	+1	+5.1%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

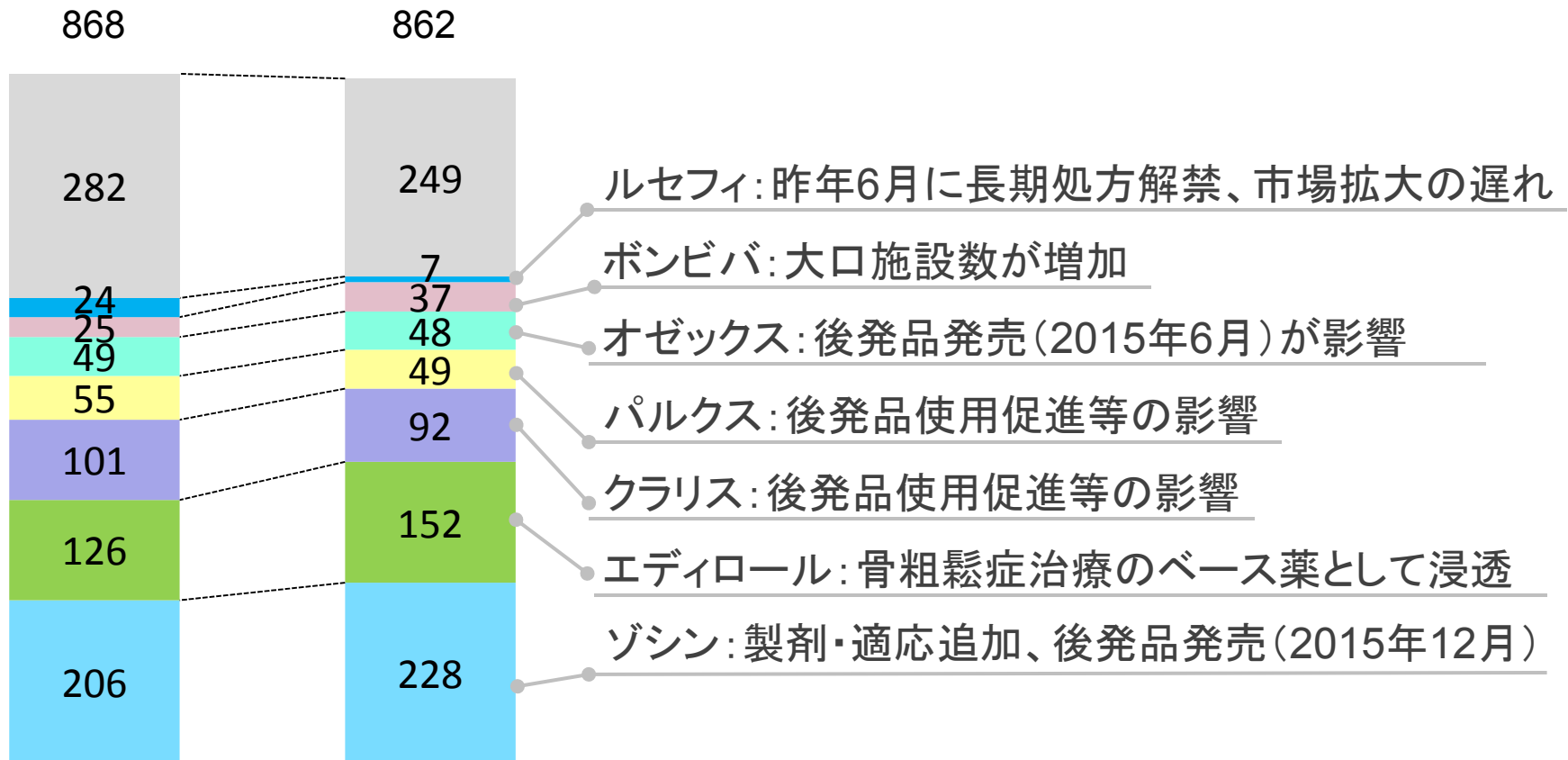


2015年度第3四半期の概況：医薬事業

医薬事業売上高

(億円)

内訳



2014年度
3Q累計

2015年度
3Q累計

注: 金額は億円未満四捨五入
増減は百万円単位で計算

<ご参考: 市場の状況>

医療用医薬品市場: 前期比+8.5%

・当社の主力市場である抗菌薬市場は▲1.7%

(経口: ▲4.4%、注射: +1.6%)

(Copyright 2015 IMS ヘルス、JPM2014年4月-2015年12月をもとに作成、無断転載禁止)



2015年度第3四半期 医薬事業：主要製品売上高

(億円)

	2015年度 3Q累計	前年同期比 増減	
ゾシン	228	+22	+10.7%
エディロール	152	+26	+20.5%
クラリス	92	▲9	▲9.0%
パルクス	49	▲6	▲10.7%
オゼックス	48	▲2	▲3.4%
ボンビバ	37	+12	+46.2%
ルセフィ	7	▲17	▲70.6%

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2015年度3Q：売上高・利益の増減要因

(前年同期比増減額)

売上高 (+32億円)	セルフメディケーション事業 (+39億円)	医薬事業 (▲6億円)
営業利益 (▲21億円)	売上総利益* ▲7億円 (売上総利益率* 前年同期61.8% → 当期60.6%)	
	販管費 +14億円	
	(内訳)	
	・研究開発費	+2億円
	・広告宣伝費	+19億円
	・販売促進費	▲1億円
	・人件費	+1億円
・その他	▲6億円	
営業外損益：持分法投資損益** +1億円		

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

**持分法投資利益額：4億円

注：金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



2015年度：通期業績予想

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
売上高	2,900	▲5	▲0.2%	2,950	▲50
セルフメディケーション	1,807	+44	+2.5%	1,805	+2
医薬	1,093	▲49	▲4.3%	1,145	▲52
営業利益	270	▲50	▲15.6%	270	-
経常利益	350	▲46	▲11.6%	350	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	215	▲30	▲12.3%	220	▲5
EPS(円)	265.23	-	-	271.42	

予=予想

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2015年10月30日時点の予想との比較



2015年度：業績予想の修正要因

売上高

		修正額	要因
セルフメディケーション	国内	+3億円	リアップの堅調 ドリンク剤の進捗遅れ 等
	海外	▲1億円	円安効果の圧縮 東南アジアの景気動向
医薬		▲52億円	ルセフィの状況 長期収載品における後発品の影響

費用

		修正額	要因
販管費		▲52億円	
	研究開発費	▲39億円	開発計画の見直し 支払時期の期ずれ



2015年度予想

SM国内：主要ブランド売上高

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
リポビタンシリーズ	602	▲19	▲3.0%	614	▲12
パブロンシリーズ	247	▲5	▲1.9%	250	▲3
リアップシリーズ	168	+19	+12.6%	150	+18
リビタシリーズ	42	+2	+4.5%	42	-
胃腸薬シリーズ	41	▲0	▲0.5%	41	-
ナロンシリーズ	37	▲0	▲0.8%	37	-
ヴィックスシリーズ	35	+0	+0.4%	35	-

予=予想

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2015年10月30日時点の予想との比較



2015年度予想 SM海外：売上高

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
SM海外	298	+ 19	+ 6.7%	299	▲ 1
海外ドリンク剤	103	+ 9	+ 9.2%	97	+ 6
海外OTC医薬品	185	+ 9	+ 5.3%	193	▲ 8
アジア	155	+ 7	+ 4.7%	163	▲ 8
その他	30	+ 2	+ 8.6%	30	▲ 0

予=予想

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2015年10月30日時点の予想との比較



2015年度予想

医薬事業：主要製品売上高

(億円)

	通期予 (新)	前期比増減		通期予 (旧)	修正額*
ゾシン	263	▲6	▲2.4%	270	▲7
エディロール	200	+28	+16.6%	188	+12
クラリス	118	▲17	▲12.3%	126	▲8
パルクス	62	▲8	▲12.0%	66	▲4
オゼックス	61	▲5	▲7.6%	61	-
ボンビバ	51	+15	+41.3%	60	▲9
ルセフィ	8	▲16	▲66.5%	40	▲32

予=予想

注:金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算

*2015年10月30日時点の予想との比較



2015年度予想：売上高・利益の増減要因

(前期比増減額)

売上高 (▲5億円)	セルフメディケーション事業 (+44億円)	医薬事業 (▲49億円)
営業利益 (▲50億円)	売上総利益* ▲10億円 (売上総利益率* 前期61.4% → 当期61.1%)	
	販管費 +39億円 (内訳)	
	・研究開発費	+13億円
	・広告宣伝費	+32億円
	・販売促進費	▲6億円
	・人件費	+4億円
	・その他	▲5億円
営業外損益：持分法投資損益	+2億円	

*返品調整引当金繰入・戻入調整後

金額は億円未満四捨五入 増減は百万円単位で計算



医療用医薬品：開発品の状況

大正製薬開発品：

2015年度第2四半期決算発表時（2015年10月30日）からの変更点

（2016年2月3日現在）

国内：ロコアテープ（開発コード：TT-063）	
適応症	変形性関節症の鎮痛・消炎
変更点	2016年1月21日に上市（パイプラインから削除）
国内：ボンビバ（経口剤）（開発コード：CT-064）	
適応症	骨粗鬆症
変更点	2016年1月22日に製造販売承認



医療用医薬品：新薬パイプライン(1)

大正製薬開発品：フェーズ2以降

(2016年2月3日現在)

	特長他 適応症／予定適応症	開発形態 国内／海外	オリジン
承認			
ボンビバ* (経口)	<u>ビスホスホネート系骨吸収抑制剤</u> 骨粗鬆症	中外製薬共同 国内	ロシュ
フェーズ2			
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社 国内	大正製薬
TS-152** (注射)	<u>抗TNFα抗体</u> 関節リウマチ	自社 国内	Ablynx社

*開発コード：CT-064、一般名：イバンドロン酸ナトリウム水和物

**TS-152：一般名：Ozoralizumab



医療用医薬品：新薬パイプライン(2)

大正製薬開発品：フェーズ1

(2016年2月3日現在)

	対象疾患	自社／導入	国内／海外
フェーズ1			
TS-071* (経口)	2型糖尿病	自社	海外
TS-121 (経口)	うつ病	自社	海外
TS-091 (経口)	中枢性過眠症	自社	海外
TS-134 (経口)	統合失調症	自社	海外

*TS-071：一般名：ルセオグリフロジン水和物、国内販売名：ルセフィ



研究開発費の動向

2015年度第3四半期実績：156億円（前年同期比 +2億円）

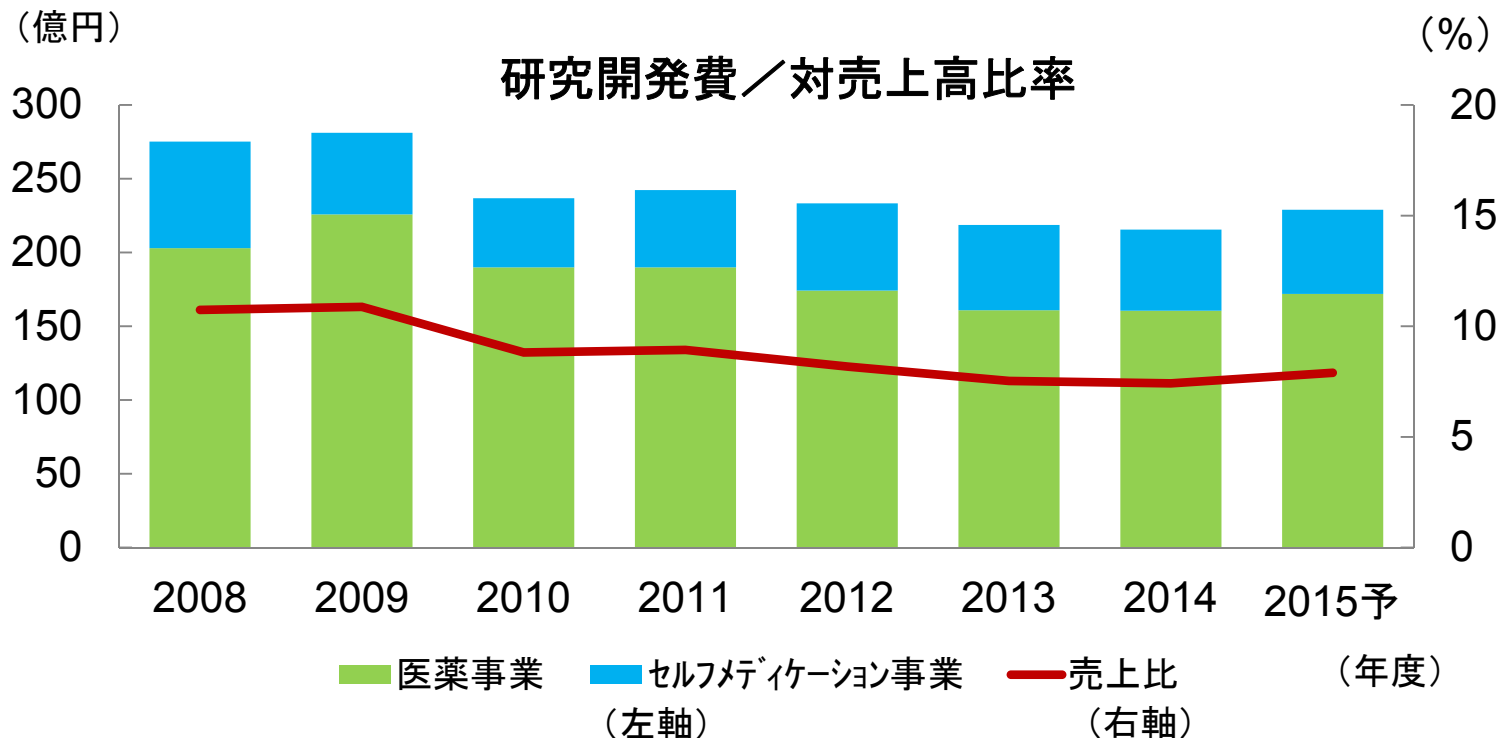
（内訳）セルフメディケーション事業：▲5億円

医薬事業： +7億円

// 通期予想：229億円（前期比 +13億円）

（内訳）セルフメディケーション事業：+2億円

医薬事業： +11億円





自己株式取得について

- 自己株式取得(2016年2月3日決議)
 - 取得目的:
経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため
 - 取得株数:150万株(上限)
発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合:1.85%
 - 取得金額:100億円(上限)
 - 取得期間:2016年2月9日~2016年5月31日

(ご参考) 平成28年1月31日時点の自己株式の保有

発行済株式総数(自己株式を除く)

81,132,404 株

自己株式数

9,007,249 株